



令和3年9月6日発行



こうじえん

普及センターだより

耕耳苑

宮古農業改良普及センター

TEL：0193-64-2220

FAX：0193-64-5631

岩泉普及サブセンター

TEL：0194-22-3115

FAX：0194-22-2806

いわてアグリベンチャーネット

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>

水稻の刈り遅れに注意しましょう！

- ・今年の出穂期は平年よりも4～7日程度早まりました。
- ・向こう1か月の平均気温は平年並みに推移する可能性が高いです。(8/26 気象庁)
- ・刈取適期が平年よりも早まる可能性があるため、コンバインや乾燥機等は例年より早めに試運転を行い、**収穫適期となったら速やかに刈り始められるように**しましょう。
- ・**水稻の収穫適期は、籾の熟色で判断します。黄化した籾の割合が80～90%程度となったら収穫適期です。**
- ・各市町村の収穫適期の予測は以下のとおりです(8月20日現在)。

	出穂期			登熟積算気温950℃到達予測日 (収穫開始の目安)			予測日の平年との差		
	始	盛	終	始	盛	終	始	盛	終
宮古市	7月30日	8月3日	8月8日	9月13日	9月18日	9月25日	-5	-5	-2
山田町	7月30日	8月3日	8月9日	9月14日	9月17日	9月26日	-4	-6	-2
岩泉町	7月28日	7月30日	8月1日	9月10日	9月13日	9月16日	-9	-10	-11
田野畑村	7月30日	8月2日	8月4日	9月13日	9月17日	9月20日	-4	-2	-4


※ 登熟積算気温 950℃到達予測日は日平均気温がアメダス平年値並みに推移した場合の予測日

台風に備えましょう！

これから10月頃にかけて台風が発生しやすい時期となりますので、事前の対策を行い、台風による農作物等の被害防止に努めましょう。

台風が接近している最中は、人命第一の観点から、圃場の見回りは大雨や強風がおさまるまでは行わないでください。大雨等がおさまった後の見回りも、増水した水路その他の危険な場所には近づかず、足下等、圃場周辺の安全に十分に注意してください。

<作目毎の対策>

水稻・畑作物	<p>【事前の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浸水や冠水に備え、排水口、排水路を点検・補修し、詰まりの原因となるゴミを除去する。 <p>【事後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冠水した場合は、速やかな排水に努めるとともに、その後は湛水管理とする。また、いもち病が発生しやすくなるので薬剤散布を行う(水稻)。 ・周囲溝や排水口を再点検・補修を行い、排水を促進する。また、風雨によって生じた傷口から病原菌が侵入し、病害が発生しやすくなるので薬剤散布を行う(畑作物)。 	 <p>排水路の事前点検を！</p>
--------	--	---

野菜・花き	<p>【事前の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫可能なものはできるだけ事前に収穫する。 ・圃場外から浸入水を防ぐため、用水路や排水溝を点検・整備する。特に水のたまりやすい場所は、早く排水できるよう事前に排水溝を整備する。 ・強風に備え、支柱・ネットを点検し、畦の両端や所々で補強する。ハウスはハウスのバンドの切れや緩みの点検、ビニールの破損の事前補修、筋かいなどの補強を行う。防風ネットは、緩んでいるワイヤーや針金を張り直し、ネットの破れを補修する。 <p>【事後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圃場に水が浸入した場合は、すぐに排水し、土壌中に空気を送るために、マルチをはがして、畝の中の水分を乾燥させる。 ・強風で株が倒伏・傾倒した場合は、風が弱まったらすぐに立て起こし、支柱・ネットを補修する。 ・圃場の冠水や多湿、茎葉の損傷、泥の跳ね上がりによって、病害が発生しやすくなるので、農薬の使用基準を確認して殺菌剤を散布する。
りんご等果樹	<p>【事前の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収穫が近い品種について、果実品質や農薬の収穫前日数を確認し、収穫が可能なものは速やかに収穫を進める。 ・防風ネットを設置している園地では、ネットの張りを点検し、緩んでいるワイヤーの張り直しや破れたネットの張り替えを行う。 ・わい性樹は強風で倒伏することがあるので、主幹を支柱に2～3カ所結束する。 <p>【事後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強風や雨により、樹が斜めに傾いたり横になった場合の立て直しはできるだけ早く行う。なお、すぐに立て直すのが難しい場合は、露出した根が乾かないようにする。 ・果実に腐敗等が認められた場合は、速やかに取り除く。 ・側枝や大きな結果母枝が折れた場合は、傷口を滑らかに切り、塗布剤を使用する。 ・低温や降霜、降雹により被害を受けた園地においても、次年度以降の営農を考慮して病害虫防除対策を実施する。
畜産	<p>【事前の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼料用とうもろこし圃場では、排水路や排水溝の点検を実施する。また、飼料用とうもろこしは、湿害に弱いため、排水ポンプの準備等の排水対策を行う。 ・停電に備え、非常用電源の準備を行うとともに、動作確認や燃料の確保を実施する。また、断水に備え、飲水用の貯水タンクを準備する。 ・畜舎周辺を点検し、畜舎内に雨水が入らないよう排水溝の点検を行うとともに、必要であれば修繕や補強を実施する。 <p>【事後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼料用とうもろこし圃場が冠水した場合は、速やかに排水を行う。また、台風通過後、倒伏・折損の状況を見て早めに収穫・貯蔵する。調製にあたっては、「登熟中のもの・泥等の付着があるもの」へは乳酸菌等の添加を行い、良質発酵を促す。 ・浸水した畜舎は、台風通過後、疾病等の未然防止のため速やかに消毒を行う。 ・牛床の敷料が雨水等で濡れた場合は、速やかに乾いたものと交換する。



非常用電源の準備を！



秋の農作業安全確認運動が始まります



県では、令和3年度秋の農作業安全月間を9月15日から11月15日までと定め、**農作業安全確認運動**を実施します。農作業は危険を伴う作業であることを再認識し、今一度ご自身やご家族等の農作業の安全について点検のうえ、**事故防止に努めましょう！**